

郡山市 子ども・若者アンケート調査票調査項目整理表

資料1 (当日配布②)

子ども・若者に関するアンケート 調査項目 「こども大綱」の指標に関わる項目：青セル、独自項目：赤字		郡山市調査票（案）	
目的	項目	10~14歳	15~39歳
基本属性	あなたの性別	問1	問1
	あなたの年齢	問2	問2
	あなたの現在の婚姻状況		問3
	現在、あなたと同居している方	問3	問4
	家の生計について	生計を主に支えている方	問5 (1)
		生計を主に支えている方の収入源	問5 (2)
	あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）		問6
	あなたが最後に卒業した学校		問7
	あなたが在学している学校	問4	
	あなたの現在の仕事		問8
	→就労に関しての支援について		問9
	あなたの就業経験		問10
自己肯定感の把握 （★こども大綱指標）	あなた自身について	①自分らしさがある	問11ア
		②ほしいものを我慢するのが苦手	問11イ
		③今の自分を変えたい	問11ウ
		④将来よりも今の生活を楽しみたい	問11エ
		⑤努力すれば希望する職業につくことができる	問11オ
		⑥自分の将来は運やチャンスによって決まる	問11カ
		⑦人生で起こることは、結局自分に原因がある	問11キ
		⑧他人に迷惑をかけない限り、どんな考え方や行動をとろうが自分の自由だ	問11ク
		⑨今の自分が好きだ	問5ア
			問11ケ

子ども・若者に関するアンケート 調査項目 「こども大綱」の指標に関わる項目：青セル、独自項目：赤字			郡山市調査票（案）	
目的	項目		10~14歳	15~39歳
		⑩自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心 ⑪自分の親（保護者）から愛されていると思う ⑫うまくいかわからないことも意欲的に取り組む ⑬自分の考えをはっきり相手に伝えることができる ⑭自分自身に満足している ⑮自分は役に立たないと強く感じる		問11コ 問5イ 問5ウ 問11ス 問11セ 問5工 問11ソ
幸福度の把握	あなたは、今、自分が幸せだと思うか		問6	問12
生活満足度の把握	生活の満足度			問13
居場所の有無の把握 （★こども大綱指標）	あなたの居場所となるいる所	①自分の部屋 ②家庭（実家や親族の家を含む） ③学校（卒業した学校を含む） ④職場（過去の職場を含む） ⑤地域（図書館や公民館、公園など現在住んでいる場所やそこにある建物など） ⑥インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	問7ア 問7イ 問7ウ 問7工 問7オ	問14ア 問14イ 問14ウ 問14エ 問14オ 問14カ
居場所への詳細なニーズ	どのような居場所があれば良いか		問8	
孤独・孤立感（※居場所の数・有無との関連性）	あなたが感じていること	①自分には人とのつきあいがないと感じることがある ②自分には話せる人がいないと感じることがある ③自分は取り残されていると感じることがある ④自分は他の人たちから孤立していると感じることがある ⑤孤独だと感じている	問9ア 問9イ 問9ウ 問16	問15ア 問15イ 問15ウ 問17ア 問17イ
		①会話やメール等をよくしている ②何でも悩みを相談できる人がいる	問10ア	問17イ

子ども・若者に関するアンケート 調査項目 「こども大綱」の指標に関する項目：青セル、独自項目：赤字				郡山市調査票（案）	
目的	項目			10~14歳	15~39歳
「どこかに助けている人がいる」と思う子ども・若者の割合 （★こども大綱指標）	家族・親族とのかかわり	③楽しく話せる時がある			問17ウ
		④困った時は助けてくれる		問10イ	問17工
		⑤他の人には言えない本音を話せることがある		問10ウ	問17オ
		⑥いつもつながりを感じている			問17カ
「どこかに助けている人がいる」と思う子ども・若者の割合 （★こども大綱指標）	友人とのかかわり	①会話やメール等をよくしている			問18ア
		②何でも悩みを相談できる人がいる		問11ア	問18イ
		③楽しく話せる時がある			問18ウ
		④困った時は助けてくれる		問11イ	問18工
		⑤他の人には言えない本音を話せることがある		問11ウ	問18オ
		⑥いつもつながりを感じている			問18カ
「どこかに助けている人がいる」と思う子ども・若者の割合 （★こども大綱指標）	職場の人とのかかわり	①会話やメール等をよくしている			問19ア
		②何でも悩みを相談できる人がいる			問19イ
		③楽しく話せる時がある			問19ウ
		④困った時は助けてくれる			問19工
		⑤他の人には言えない本音を話せることがある			問19オ
		⑥いつもつながりを感じている			問19カ
「どこかに助けている人がいる」と思う子ども・若者の割合 （★こども大綱指標）	地域の人とのかかわり	①会話やメール等をよくしている			問20ア
		②何でも悩みを相談できる人がいる		問12ア	問20イ
		③楽しく話せる時がある			問20ウ
		④困った時は助けてくれる		問12イ	問20工
		⑤他の人には言えない本音を話せることがある		問12ウ	問20オ
		⑥いつもつながりを感じている			問20カ

子ども・若者に関するアンケート 調査項目 「こども大綱」の指標に関する項目：青セル、独自項目：赤字		郡山市調査票（案）	
目的	項目	10~14歳	15~39歳
「どこかに助けている人がいる」と思う子ども・若者の割合 （★こども大綱指標）	インターネット上の人との かかわり	①会話やメール等をよくしている ②何でも悩みを相談できる人がいる ③楽しく話せる時がある ④困った時は助けてくれる ⑤他の人には言えない本音を話せることがある ⑥いつもつながりを感じている	問21ア 問21イ 問21ウ 問21イ 問21オ 問21カ
社会的スキル （★こども大綱指標）	他の人と付き合う時にあて はまるこ	①誰とでもすぐ仲良くなれる ②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる ③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る ④その場に合った行動がとれる ⑤表情が豊かである ⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう ⑦人にぶつかっても、謝らないことがある	問22ア 問22イ 問22ウ 問22エ 問22オ 問22カ 問22キ
★こども大綱指標	自分の将来について明るい希望を持っているか	「社会のために役立つことをしたい」と思うか	問15 問23
不登校・ひきこもり経験の実態把握	普段自宅にいるときはどんなことに時間を使っているか		問17 問25
	普段どのくらい外出するか		問18 問26
	→外出状況が現在の状態となって、どのくらい経つか		問19 問27
	→外出状況が現在の状態となったのは、何歳の頃か		問20 問28
	→外出状況が現在の状態となった理由		問21 問29
	→外出状況が現在の状態となった最も大きな理由		問22 問30
	最近6か月間に、家族以外の人と会話したか		問23 問31

子ども・若者に関するアンケート 調査項目 「こども大綱」の指標に関する項目：青セル、独自項目：赤字		郡山市調査票（案）	
目的	項目	10~14歳	15~39歳
困難体験の有無(★こども大綱指標)	今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかつた経験（現在、送れていない状況）があるか →そうした問題を経験した（現在経験している）主な原因は何か（自分自身について・家族や家庭について・学校について・仕事や職場について）	問24	問32 問33 (1) ~ (4)
困難体験の実態、詳細	今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかつた状態が改善した経験があるか →状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと 悩んでいることや困っていることはあるか 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談したい人や場所 →相談したくないと思う理由	問25 問26 問27 問28 問29	問34 問35 問36 問37 問38
受援スキルの度合い／制度の周知	子ども・若者を対象とした相談機関や育成支援機関等の認知度 子ども・若者を対象とした相談機関や育成支援機関等で知っている機関 →これらの機関を利用したことがあるか これらの機関を利用したいと思うか	問30 問31 問32 問33	問39 問40 問41
こども・若者が生活に求めるもの	本市に住み続けたいか 住み続けるために重要と思うこと		問42 問43
意見聴取	自由意見	問31	問44